

いずみ

IMCの効率的な
健診を支える
2つのシステム

より効率的に
より快適に



今号では、快適な健診をご提供するために茨城県メディカルセンター（IMC）が導入している2つのシステムをご紹介します。一日人間ドックや施設内健診（生活習慣病健診・定期健診など）では、誘導支援システムを活用し、スムーズな健診を実現しています。



SYSTEM

1

一日人間ドック・施設内健診

待ち時間が最も少ない検査へと誘導支援するシステム

SYSTEM 1の流れ



受付時に受診票をお渡しします。



検査ごとに受診票のバーコードを読み取ります。



検査後、次に受けていただく検査を調べます。

待ち時間を最短にし、 より快適な健診に



IMCでは、精度の高い健診を快適な環境でスムーズに受診していただくことを目指し、日ごろからさまざまな改善に取り組んでいます。一日人間ドックや生活習慣病健診、定期健康診断などの施設内健診においては、「誘導支援システム」を導入し、待ち時間の短縮やヒューマンエラーの防止に効果を上げています。

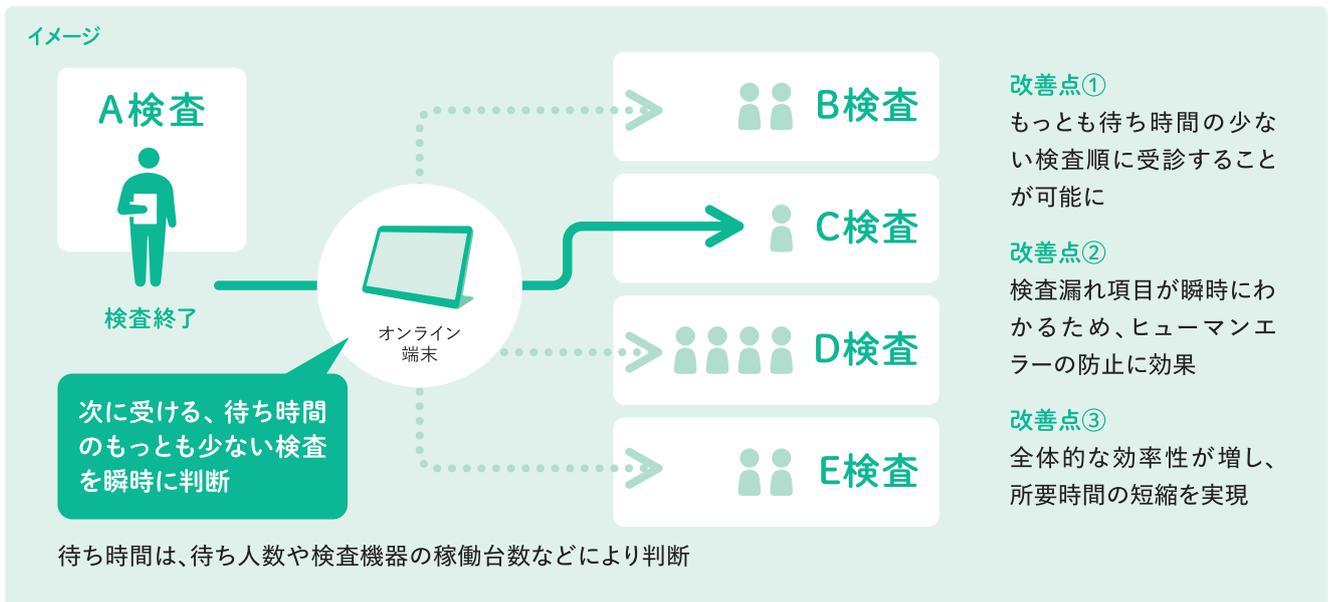
健診フロアでは、受付時に発行される受診票を持って各検査を受けていただきます。検査ごとにスタッフが受診票のバーコードを機器で読み取り、検査を開始します。検査が終わると、システムがリアルタイムで次に受けるべき最適な（待ち時間のもっとも少ない）検査を判断し、ご案内するという仕組みです（待ち時間は、待ち人数や検査機器の稼働台数などにより判断します）。これにより、待ち時間の短縮と順番待ちの管理を同時に行うことがで

きるようになり、受診者の皆さまにとってよりストレスの少ない受診環境をご提供できるようになりました。

受診しない検査や、守るべき検査の順番から外れた検査を誤って受診しようとした場合には、バーコードを読み取った時点でエラー表示が出て受付ができないため、安全の確保にもつながっています。

各端末は、IMCのサーバーにオンラインで接続されており、検査データや健診の進捗は随時サーバーへと送られ、管理されます。

最終の検査を受け終わると、スタッフがバーコードを読み取り、パソコン上で検査漏れが無いかを確認します。以前は目視で確認していましたが、このシステム導入により、検査漏れがある場合は瞬時に表示されるようになり、さらなる効率化を実現しています。



最も待ち時間が少ない検査が表示されます。



スタッフが次の検査室をご案内。



すべての検査が終わったら最終チェックをします。



巡回健診

ICカードで健診の進捗と 検査データを正確に管理

検診バスで職場にお伺いする「巡回健診」では、
ICカードとタブレットを使用するシステムを取り入れています。
検査データがタブレットにわかりやすく示されるため、
その場で受診者の方にも確認いただきやすくなりました。

SYSTEM 2の流れ



受付時にICカードが入ったファイルをお渡しします。



ICカードには受診項目が登録されています。



検査ごとにICカードを読み取ります。

大きな画面で、検査データをわかりやすく提示



皆さまの勤務先へIMCのスタッフがお伺いして健康診断を実施する「巡回健診」においても、システム化を進めてより効率的な健診を実現しています。

巡回健診では、受付時にICカードを発行し、受診者の皆さまにはそのカードを収納したファイルを持って各検査を受けていただきます。

スタッフがファイル内のICカードをリーダーにかざしてから検査を行い、検査データをICカードに蓄積させていきます。また、タブレットが検査ごとに設置されており、受診者ご自身で当日の検査データを確認できるようになりました。

さらにタブレットには、受診済みの検査は「●」、まだ受診していない検査が「○」と表示されるため、進捗確認もしやすく、検査漏れや受診項目の間違いなどのミス

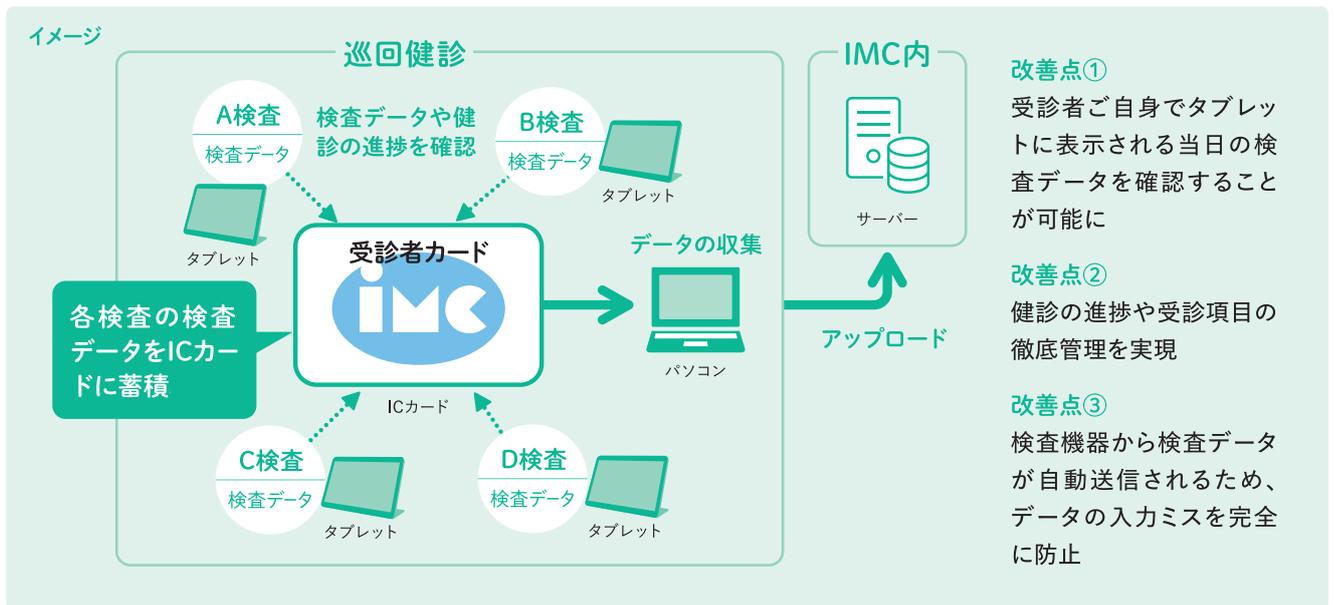
を防ぐことにもつながっています。

すべての検査が終了したら、スタッフがファイルを回収し、検査漏れがないかなどの最終チェックを行った後、ICカードに蓄積された検査データを専用のパソコンに収集します。

これまでは、スタッフが検査データを収集端末に手入力していましたが、システム導入に伴い、検査機器から検査データが自動送信されるようになったため、入力ミスを完全に防止する体制が整いました。

IMCの施設に戻ってから検査データをサーバーにアップロードし、読影（検査画像から診断すること）や医師の判定を加えて、結果報告書が完成。

皆さまのお手元へと速やかにお届けしています。



その後に、検査を開始。



検査データがタブレットに表示されます。



全検査終了後に、カードの情報を収集します。

新オプション検査のご紹介

2022年度から、一日人間ドックのオプション検査として、次の検査が追加されます。
受診当日の申し込みも可能です。ぜひご利用ください。

一日人間ドック | オプション検査

当日も申込可

*検査料金はすべて一人あたりの税込み価格です。

NEW

腸内フローラ検査

▶ 便で腸内細菌から健康状態をチェック

● 検査方法・検査でわかること

便で腸内細菌を調べる検査です。1,000種類以上の細菌の群れ（細菌叢）をカラフルなお花畑に例え「腸内フローラ」と呼びます。大腸がん・大腸ポリープ・糖尿病・アレルギー疾患・自己免疫疾患など様々な全身の病気との関わりが分かっています。



結果報告書（資料提供：株式会社サイキンソー）

16,500円

● 検査の流れ

受診当日に専用の検査キットをお渡し

▼
自宅で採便

▼
専用封筒に入れ郵送

▼
およそ6週間後に結果をお届け

NEW

LOX-index検査

▶ 血液から脳梗塞や心筋梗塞のリスクを予測

● 検査方法・検査でわかること

血液で脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを調べる新しい検査です。動脈硬化の原因物質を直接測定することで、進行から将来の発症までを予測します。



結果報告書（資料提供：株式会社プリメディカ）

12,100円

● 検査の流れ

受診当日に採血した血液で検査

▼
15日前後で結果をお届け

NEW

ビタミンD

▶ とくに女性にお勧め。骨粗しょう症のリスクがわかる

● 検査方法・検査でわかること

血液中のビタミンD濃度を測定する検査です。過度な紫外線対策や無理なダイエットによりビタミンD不足状態の方、閉経後の女性や乳がんの既往がある方、高齢者で骨粗しょう症のリスクが高い方などにお勧めです。

3,300円

● 検査の流れ

受診当日に採血した血液で検査

▼
人間ドック結果報告書でお知らせ

NEW

亜鉛

▶ 多くの症状を引き起こす亜鉛欠乏の有無を血液検査で確認

● 検査方法・検査でわかること

血液中の亜鉛濃度を測定する検査です。亜鉛が欠乏すると、成長遅延、性機能低下、皮膚炎、食欲減退、味覚・嗅覚の減退、脱毛、治癒の遅延、惰眠、うつ病などの精神・神経症状などの様々な症状が現れます。

1,100円

● 検査の流れ

受診当日に採血した血液で検査

▼
人間ドック結果報告書でお知らせ

新ドクター紹介

真心と緊張感を持って、
皆さまが健康を長く維持するためのお手伝いを。



武井 泰彦

茨城県メディカルセンター 医師

2021年の4月にIMCに赴任しました。出身は岩手県ですが、栃木県の大学に進み、卒業後は、国立病院機構 水戸医療センターを始め、茨城県内の医療機関でこれまで臨床医を続けてきました。

健診施設に常勤医師として勤務するのは、IMCが初めてです。今までとの違いをあえて言うとならば、臨床医は、何か体について気になることがある方を診て、病気があればその変化を定期的に追っていくことができます。しかし、健診施設では、受診の機会が基本的には年に1回であるため、検査を受けていただいたその場で、異常があるかないかの正確な判断が求められます。その点ではこれまで以上のシビアさを感じています。できる限り異常を見逃すことがないよう、緊張感を持って、X線やCT、心電図の検査画像と向き合う日々を送っています。

一方で、臨床医も健診医も、医師として心掛けることは変わらないという想いも持っています。いかに真心を持って受診者の方と向き合い、満足してお帰りいただくか――

医師の務めはそれに尽きると思います。限られた時間内ですの、すべてに対応するのは難しい部分もありますが、健康についてお悩みのことに対して少しでもお応えするという意識を持って臨むことを心掛けています。

私は、これまで睡眠障害の治療に長く携わってきました。睡眠時無呼吸症候群という病名を一度は耳にしたことがあるかと思いますが、今、その病気を発症している方が非常に多くいます。太り気味の男性に多いイメージがありますが、じつは、日本人の場合、アゴの構造、顔の骨格の特徴から痩せているのに重症な方もたくさんいらっしゃいます。

この病気がひどくなると、日中でも、本人は気づかないまま大きないびきをかいて眠りこんでしまうなどの症状が現れ、社会生活に深刻な影響を及ぼします。夜眠れないことでさらにストレスが加わり、血圧や血糖値なども上昇し、いわゆる生活習慣病を引き起こす要因にもなります。

逆にいえば、しっかりとした治療を行うことで、血圧や血糖値などを大きく改善させることもできるのです。

健診の結果を説明する際、検査の数値およびご本人の体型などから睡眠障害が疑われる方には、その可能性をお伝えし、希望される方には治療法や専門医などのアドバイスを行うこともあります。これからも、受診していただく皆さまに健康を少しでも長く維持していただくお手伝いができるよう、力を尽くしてまいります。

一日人間ドックの昼食が変わります！

一日人間ドックの昼食提供業者が4月から変わります。

「笠原御膳」は、メインの煮込みハンバーグに、ローストビーフと蒸し鶏のサラダが、「ヘルシー御膳」はメインの銀鮭西京焼きに、シーフードサラダがつく内容に。

どちらにも、自家製豆腐キノコ餡かけ、季節のフルーツなどが添えられ、白米または十五穀米をお選びいただけます。IMCの新しい味をどうぞお楽しみください。



写真上：笠原御膳 下：ヘルシー御膳

ホームページをリニューアル

ホームページのリニューアルを行いました。リニューアルサイトは、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただきやすいレスポンスなものになりました。

リニューアルにともない、ホームページのURLが変更になりましたので、お手数ですがブラウザの「お気に入り」「ブックマーク」などに登録されている方は、下記の新しいURLへの登録変更をお願いします。

◎新URL→<https://imc.or.jp>

IMC 健康づくり・まめ知識

食塩の摂りすぎに注意しましょう。

日本人の食事摂取基準（2020年版）では、1日あたりの食塩摂取量の目標は男性7.5g未満、女性6.5g未満とされています。食事をする際は、カロリーだけではなく食塩摂取量についても気をつける必要があります。

料理の中でも塩分を多く摂りやすいものは、汁物や漬物です。たとえば、カップ麺のスープまで飲み干すと、それだけで5.5gもの食塩を摂取することになります。スナック菓子やお酒のおつまみにも塩分が多いものがあるので、血圧の高い方はとくに注意が必要です。

また、食事のカロリーを抑えるために、ご飯を少なめにしておかずを多く摂ることも、食塩の過剰摂取につながります。おかずは薄味を心掛けることが大切です。

野菜に含まれるカリウムは、ナトリウムを尿中に排泄する働きがあり、血圧の低下に役立ちますので、積極的に摂ることを心がけましょう。

減塩のコツは？



酸味や旨味を活かすことで、塩分を控えた味付けに。



麺類のスープは飲み切らずに残す



野菜を積極的に摂って、塩分を排泄

【編集後記】

今号では人間ドックや健康診断業務を支えるシステムについてご紹介しました。当センターでは運用、流れの見直しといったソフト面はもちろんのこと、ハード面でも様々な改良を行っています。正確に、より効率的に医療サービスをご提供できる

よう今後も努めてまいります。令和3年度は、東京オリンピック、北京オリンピックとビッグイベントが続き、結果に喜んだり、悲しんだり、コロナ禍で家にいることが多い中でも、充実した毎日を過ごすことができました。本誌が発行される

頃にはサッカー日本代表もワールドカップ出場を決めていると良いのですが……。そして、カタールワールドカップが開催される令和4年11月には、新型コロナウイルスの動向がより良い方向に向かっていくことを願っています。（木村）

一般財団法人 茨城県メディカルセンター

TEL 029-243-1111 FAX 029-243-1108 水戸市笠原町489 〒310-8581
<https://imc.or.jp> メールアドレス medical@imc.or.jp

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| ● 一日人間ドック | ● 女性健診 | 029-243-1111 |
| ● 乳がんドック | | |
| ● 働く人の健診 | ● ストレスチェック | 029-243-1113 |
| ● 幼児・児童・生徒の検診 | | |
| ● 特定保健指導 | | 029-243-1114 |
| ● 目の検査 | | 029-241-7908 |
| ● きこえの検査 | | 029-241-7906 |

